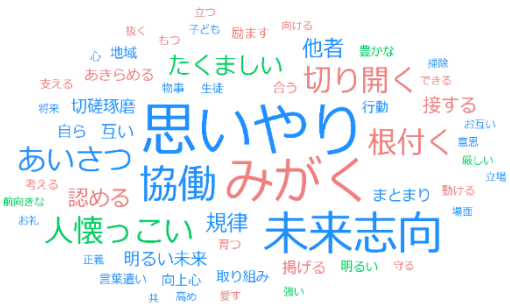
令和７年度の取組　　「目指す子ども像」を中心とした活動スタート！

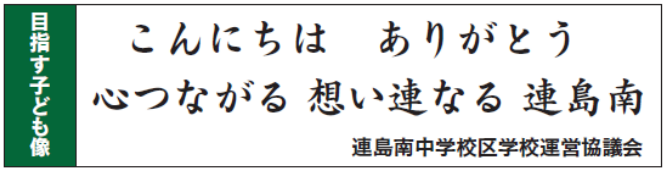
令和７年６月 27 日（金）に行った中学校の運営協議会は、幼・小・中の教職員、地域代表の方からの思いや願いは前もって集約し、“テキストマイニングや ChatGPT”などの AI を用いてキーワードの分類を行い視覚化したものを事前に提示しておいた。当日は、その資料も参考にして３グループに分かれ、模造紙に付箋をはりながら熟議した。



AI による意見集約「目指す子ども像のキーワード」

「目指す子ども像」熟議の様子

目指す子ども像は、令和６年度から１年越しで熟議を繰り返し、令和７年度第１回学校運営協議会で再熟議を行った結果、幼・小・中学校で統一した目指す子ども像は、「こんにちは　ありがとう　心つながる　想い連なる 連島南」に決定した。その後、「目指す子ども像」は、次のようなプレートを本校の職員室や応接室、校長室に取り付け、地域の方々や教職員への周知を図った。



「目指す子ども像」プレートを掲示

また、目指す子ども像をベースにしたのぼり旗のまわりのデザインは幼稚園・小学校・中学校の子どもたちや保護者からも募集した。園児・児童・生徒にとっても分かりやすい「目指す子ども像」の言葉の周りに、自らがデザインした絵を描くことで、子どもから大人まで地域が一つにつながると考えて取り組んだ。令和７年５月に各校園で保護者宛の文書によりオリジナルデザインの募集を呼びかけたところ、幼・小・中学校合わせて 82 作品があがった。そのデザインをもとに委員で作品を選出し、のぼり旗を 10 月から掲げた。掲げた場所は、連島南幼・小・中学校・連島南公民館で、それ以外にも保育園、地域の会館や郵便局にもご理解とご協力をいただき、７年度は計８箇所に設置することができた。

のぼり旗設置